

三条商工会議所景況調査概況

【令和6年4月～6月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和6年6月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 328 商工会議所が 2,506 企業にヒアリング。回答数 2,008 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 227 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

6月の全産業合計の業況DIは、▲16.2（前月比▲4.8ポイント）

資源・原材料価格が高止まりする中、歴史的な円安基調や人材確保に向けた賃上げ、輸送費の上昇等の複合的な要因による企業のコスト負担増は業種を問わず継続している。

とりわけ、建設業や卸売業では、働き方改革関連法による輸送費・労務費の上昇や需要の取りこぼしが見られたほか、製造業では企業の設備投資が力強さを欠き、需要が伸び悩んでいる。また、小売業やサービス業では、インバウンド需要は底堅いものの、物価高による消費者の購買意欲の低下が下押しした。継続する物価高による消費低迷により、全業種で業況は悪化となった。（全業種で業況DIが1.0ポイント以上悪化したのは、2022年9月以来）

先行き見通しDIは、▲16.0（今月比+0.2ポイント）

高い賃上げ率や定額減税等による可処分所得の増加が期待される一方、資源価格の高止まりや円安の伸長等による物価高が依然として上回っており、消費低迷が続いている。

また、人手不足による労務費や輸送費の上昇、電気代等の光熱費の高騰で、企業のコスト負担増は継続している。価格転嫁も進捗は見られるが、度重なる物価上昇に追い付いておらず、先行きは厳しい見方が続いている。

全国の6月産業別業況

【建設業】

「時間外労働の上限規制により、工事の受注を見送る等の影響が出てきている。一方、以前よりも従業員の残業時間の管理や人員配置を考えるきっかけとなっている。また、発注者にも適切な工期設定を依頼できるようになった」（土木工事業）、「原材料の高騰が続く中、人材確保に向けて賃上げにも努めているが、業界全体が人手不足であり、恒常的に人手が足りない」（防水工事業）

【製造業】

「円安基調により再び原材料価格が上昇しており、再度の価格転嫁を進めざるを得ない状況である。しかし、長引く物価高・実質賃金のマイナスが継続しているため、最終消費者の購買意欲が低下しており、値上げによる販売数量の減少を危惧して足踏みしている」（パン・菓子製造業）、「ここ数年で10%以上の賃上げを実施したが、円安で外国人労働者の賃金が自国通貨換算時に目減りしており、人材確保の足かせになっている」（鉄鋼業）

【卸売業】

「物価高による消費者の購買意欲の低下が大きく、少しでも安価な商品を購入するようになっている。仕入価格や運送費の上昇分を販売価格に転嫁しているが、何度も値上げは行えないため、収益を圧迫している」（農畜産水産物卸売業）、「物流2024年問題で運送事業者の輸送費が上昇。物流の効率化に向けて方策を模索しているところである」（建築材料卸売業）

【小売業】

「インバウンド需要の高まりで、外国人観光客による免税品の売上は好調が続いている。一方、地域顧客の購買意欲の低迷や、電気代の高騰等に伴うコスト増により、総じてみると売上・収益ともに伸び悩み状態にある」（百貨店）、「運送事業者の働き方改革に伴い、輸送費の上昇によるコスト負担増に加え、納品回数の減少で欠品も起きている」（服飾品小売業）

【サービス業】

「円安による備品等の価格の上昇に加え、電気代も高騰しており、経営は苦しさを増している。また、物価高で顧客の来店頻度・客単価の双方が下がっており、これ以上の顧客離れを懸念して料金改定も行えない」（理容業）、「インバウンド観光客の客単価は上昇しているが、地域顧客はまだ賃金上昇が物価高に追い付いておらず外食離れが進行している」（飲食店）

【令和6年4月～6月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和5年度第1四半期(R5年4～6月)比(以後、前年同期比という)では▲30(前期差1ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲35(前期差28ポイント減)、製造業が▲33(前期差5ポイント増)、卸売業が▲35(前期差22ポイント増)、小売業が▲30(前期差1ポイント減)、サービス業が▲12(前期差9ポイント減)となった。前回調査に比べ、製造業、卸売業はDI値が回復したが、建設業、小売業、サービス業はDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲35(前期差28ポイント減)、採算DIは▲28(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲44(前期差26ポイント減)、従業員DIは▲19(前期差19ポイント減)となり、採算DIは増加したが、業況DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲33(前期差5ポイント増)、採算DIは▲33(前期差5ポイント増)、売上額DIは▲21(前期差18ポイント増)、従業員DIは+15(前期差27ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲35(前期差22ポイント増)、採算DIは▲35(前期差14ポイント増)、売上額DIは▲25(前期差24ポイント増)、従業員DIは+4(前期差9ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況DIは▲30(前期差1ポイント減)、採算DIは▲19(前期差5ポイント減)、売上額DIは▲26(前期差12ポイント減)、従業員DIは▲4(前期差±0ポイント)となり、従業員DIは横ばい。業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

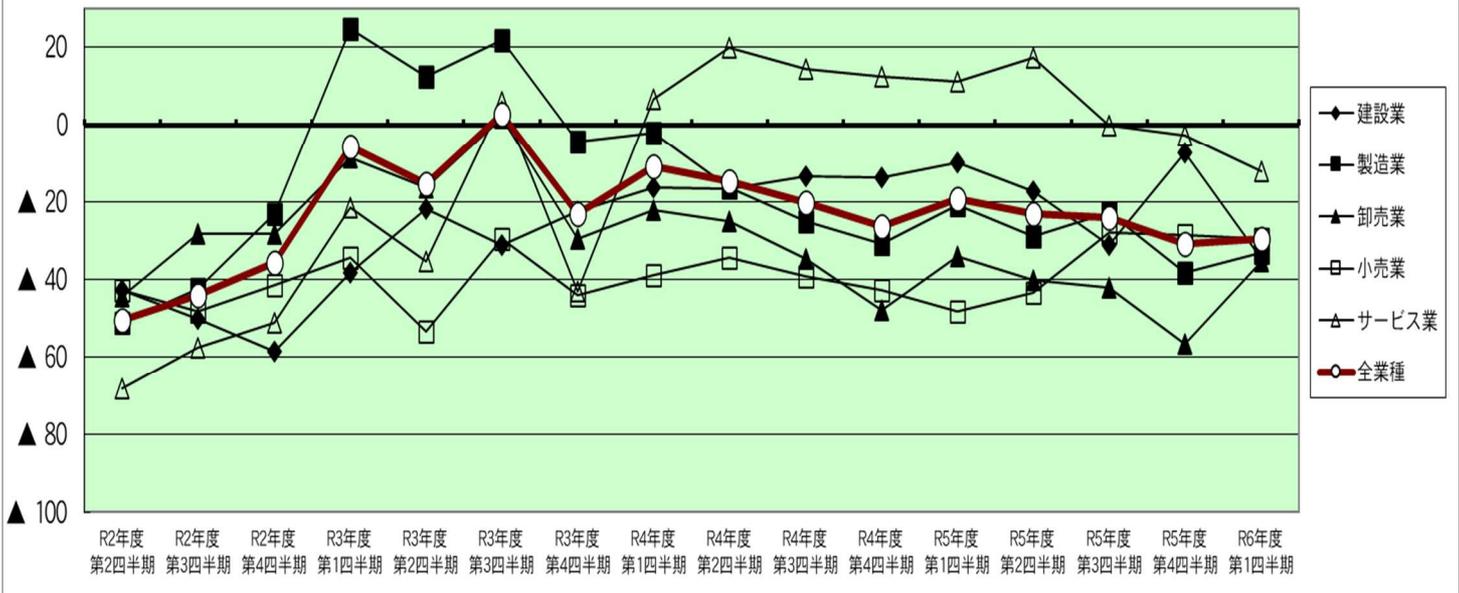
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲12(前期差9ポイント減)、採算DIは▲27(前期差27ポイント減)、売上額DIは▲5(前期差2ポイント減)、従業員DIは▲29(前期差21ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R2 年度			R3 年度				R4 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11
建設業	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16
製造業	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25	12	22	▲ 4	▲ 2
卸売業	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22
小売業	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39
サービス業	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7
	R4 年度			R5 年度				R6 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31	▲ 30
建設業	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7	▲ 35
製造業	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38	▲ 33
卸売業	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57	▲ 35
小売業	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29	▲ 30
サービス業	20	14	13	11	18	0	▲ 3	▲ 12

業況DI推移 (前年同期比)

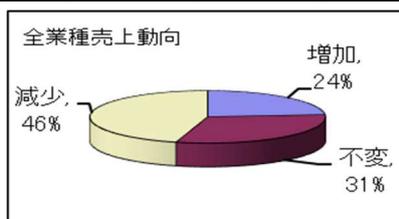


令和6年度 第1四半期(2024年4月～6月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

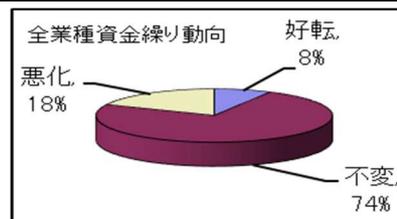
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	55	71	106
	%	24%	31%	46%
建設業	件数	3	8	14
	%	12%	32%	56%
製造業	件数	24	24	43
	%	26%	26%	47%
卸売業	件数	9	18	21
	%	19%	38%	44%
小売業	件数	4	12	11
	%	15%	44%	41%
サービス業	件数	15	9	17
	%	37%	22%	41%



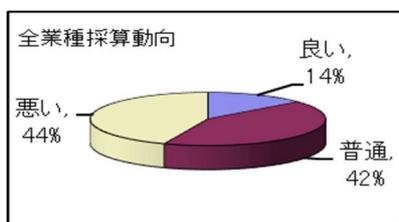
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	18	170	42
	%	8%	74%	18%
建設業	件数	2	17	7
	%	8%	65%	27%
製造業	件数	8	69	14
	%	9%	76%	15%
卸売業	件数	3	38	7
	%	6%	79%	15%
小売業	件数	1	20	6
	%	4%	74%	22%
サービス業	件数	4	26	8
	%	11%	68%	21%



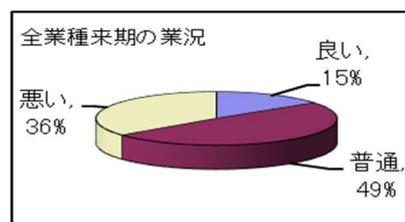
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	32	98	102
	%	14%	42%	44%
建設業	件数	3	12	10
	%	12%	48%	40%
製造業	件数	13	35	43
	%	14%	38%	47%
卸売業	件数	5	21	22
	%	10%	44%	46%
小売業	件数	3	16	8
	%	11%	59%	30%
サービス業	件数	8	14	19
	%	20%	34%	46%



業種別来期(2024.7～9月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	29	95	69
	%	15%	49%	36%
建設業	件数	4	10	7
	%	19%	48%	33%
製造業	件数	11	39	28
	%	14%	50%	36%
卸売業	件数	4	23	13
	%	10%	58%	33%
小売業	件数	1	10	8
	%	5%	53%	42%
サービス業	件数	9	13	13
	%	26%	37%	37%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>